

1. 秋田看護福祉大学 教育目標

秋田看護福祉大学では、学部の人材育成に関する目的と教育目標を次のように定めています。

「幅広い教養教育との密接な関連のもとに保健・医療・福祉領域における奥深い専門教育を教授し、豊かな人間性と知性、高度な専門知識と技術を身につけて社会に貢献できる人材を養成するとともに、独創的で実際的な研究活動を行い、その研究成果を還元することにより、地域社会や国際社会の発展に寄与することを目的とする」 (学則第1章第1条)

また、看護学と社会福祉学の専門性と独自性を尊重しつつ、学科ごとの教育目標を定めています。

看護学科 「生命に対する深い尊厳の心を持ち、対象者がどのような援助を求めているかを正確に把握し、常に向上心を持って適切な看護サービスを提供できる看護職者を養成する」

看護学科「養成する人材像」

- 1) 幅広い教養を身につけ、人権や生命の尊厳への深い理解と豊かな人間性を有する人材。
- 2) 看護の専門知識と技術を学び、科学的な根拠に基づいた適切な判断能力と問題解決能力を有する人材。
- 3) 医療を支える優れたケアを提供するための最善の仕組みを創造し、高齢化に即した看護を実践する能力を有する人材。
- 4) 社会の変化に柔軟に対応し、看護職者として、保健・医療・福祉サービスのマネジメント能力を有する人材。
- 5) 急速に進展する医学・医療に即応できる判断能力、応用能力、自己啓発能力を有する人材。
- 6) 地域の健康問題とその影響因子を的確に把握し、個人・家族・集団のニーズに合った適切な指導や援助を実践できる人材。

- 7) 女性の健康問題や妊娠・分娩・産褥期の母子の状況を的確に把握し、適切な看護と助産を實踐できる人材。
- 8) 他の職域スタッフと連携を図りながら、増大・複雑化する保健・医療・福祉のニーズに対応した包括的サービスを實踐できる人材。
- 9) 国際保健の分野で活躍できる人材。ー 率先して地域にとけ込み、健康問題に対する住民教育を實踐し、ヘルスケア・チームにおける指導的能力を發揮できる看護職 ー

**福祉学科 「社会福祉学という「知」と「実践」を統合した
学問を機軸に、学究の営みに邁進し、共生社会の實現に向けて創造的な提言を行い、自ら行動できる福祉マインドを持った人材を養成する」**

福祉学科「養成する人材像」

- 1) 社会福祉の理念に則り、常に対象者のQOL（Quality of Life）に配慮し、自立を支援できる人材。
- 2) 社会福祉の担い手として、高度な社会福祉の専門知識と技術を身につけ、情報化・国際化に対応できる人材。
- 3) 幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、かつ、様々な個性を持つ対象者に適切に対応できる判断能力と応用能力を有する人材。
- 4) 対人援助専門職者として、常に自らを成長させる向上心と探究心を持ち続ける人材。
- 5) どのような状況下にあっても、対象者一人ひとりの考えや気持ち、立場に配慮し、対象者の意思を尊重した適切な福祉サービスを提供できる人材。
- 6) 対人援助専門職者として、社会福祉の理念や知識、技術を持ち、さらには心理学の知識と技術を併せ持つ人材。
- 7) 他の職域スタッフと連携を図りながら、増大・複雑化する保健・医療・福祉のニーズに対応した包括的サービスを實踐できる人材。

2. 秋田看護福祉大学 アドミッションポリシー

○秋田看護福祉大学

本学は、わが国の少子高齢化を支える保健・医療・福祉分野を担う人材の確保と質の向上のために、豊かな人間性と知性を涵養し、確かな知識と実践力を備え、たゆまぬ向上心と創造する力を伸ばす教育を目指しています。また、地域社会の発展への貢献を教育研究の目標としています。

そのため、本学の教育理念に共感する次のような学生を求めています。

- (1) 人権や生命への尊厳の気持ちを持った人
- (2) 他者に対する思いやりの気持ちを持った人
- (3) 自らの責任において、主体的に学習しようという意欲を持った人
- (4) 周囲の人々と協力し物事を成し遂げようとする協調性を持った人

看護学科

看護学科は、高度な保健・医療に対応できる、確かな知識と実践力を身につけた看護職（看護師・保健師・助産師）を育成します。人間の生涯にわたる健康生活を支援し、様々な健康レベルにある人々のニーズに対応するために、保健・医療・福祉サービスにおける専門的な知識技術を教育するだけでなく、人を大切に作る心（調和の精神）を持ち、生命の尊厳に対する深い洞察力を修得するための教育を展開しています。

そこで、看護学科では次のような人を求めます。

- (1) 看護学を学ぶための基礎となる、国語、英語、理科（特に生物・化学）などの基礎学力を有する人
- (2) 人間が好きで、自分の意見を主張しながら相手を尊重し、コミュニケーションをとることができる人
- (3) 看護に関心を持ち、住民の健康の回復と維持に貢献したいという意欲を持った人
- (4) 常に向上心を持ち、時代の変化に対応できる柔軟な思考力を持った人
- (5) 地域社会や国際社会に貢献したいという気持ちを持っている人
- (6) 仲間や多職種など、他の人と協力して保健・医療サービスを提供したいと思っている人

福祉学科

福祉学科は、多様化、複雑化する保健・医療・福祉のニーズに対応した総合的な福祉サービスを実践できる福祉専門職（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）を育成します。また、同時に福祉学に加え、経営、経済、法律、栄養など幅広い分野を修得し、一般企業や行政分野においても活躍できるよう教育を展開しています。

そこで、福祉学科では次のような人を求めます。

- (1) 福祉を学ぶ上で基本となる、国語、英語、地歴・公民などをしっかりと学習している人
- (2) 人間の福祉に幅広い関心を持ち、福祉の分野で社会に貢献したいと思っている人
- (3) 人間の尊厳と自立に理解があり、人々の幸せを真剣に考える誠実さと社会性を備えた人
- (4) 仲間や多職種など、他の人と連携・協力して福祉サービスを提供したいと思っている人
- (5) 福祉を中心に経営、経済、法律、栄養などを学び、幅広い領域で活躍したいと思っている人